

# S社様

# ガスタンクの残量を可視化し、 適時適切な補充を実現!!



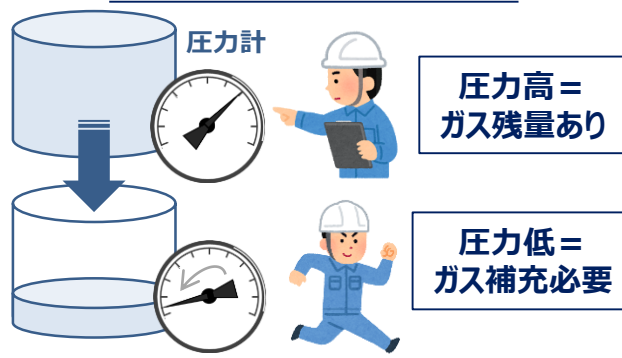
## 現状の課題

### 目視に頼った多頻度なガス補充

- 作業員は**1日数回の圧力計の点検作業**により、窒素ガスの残量を把握し、残り少なくなったタイミングでガスを補充する。
- ガスの減り具合は、業務状況や時期によって異なるため、こまめに確認する必要があるが、**点検頻度が増すと業務効率も低下する。**

課題：残量点検/補充業務の効率化

## 窒素ガスタンク補充の運用



## 課題の解決策

### 窒素ガスタンクの圧力計にカメラ設置

#### ソリューションの説明

カメラを設置し、1時間ごとに圧力(=ガス残量)を計測。ガスの減り具合を可視化し、補充タイミングを検知。

#### ソリューションの特徴

- 既存設備に簡単後付け
- 乾電池で長期稼働
- 高い読取精度(特許取得)

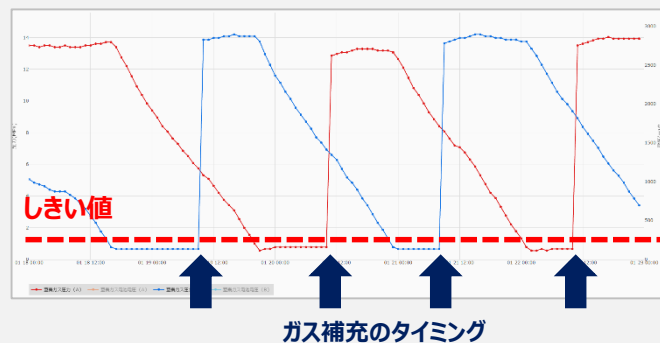
#### 導入効果

残量点検回数の減少  
による業務の効率化

使用傾向把握による  
需要予測への活用

## データの可視化

2系統あるタンクのガス使用状況が一目瞭然となり、ガスの補充タイミングがグラフからもしっかりと読み取れる。



## User's Voice

S社 ご担当者様

- 当初の期待通りに窒素ガスタンクの残量を可視化できて、非常に満足している。
- トライアル後に一度カメラを外したら、現場担当者から便利だったから付けておいて欲しいと声があがった。
- 種類の異なる別のタンクでも活用できないか検討中である。